資料１

**地域公共交通網形成計画作成の背景とその目的**

**１.国の考える地域公共交通網形成計画の背景とその目的**

人の「移動」の一翼を担う公共交通を取巻く環境は、自動車の普及や人口

減少、少子高齢化など、厳しさを増しています。

公共交通網の縮小やサービス水準の一層の低下が、更に公共交通利用者を

減少させることになるなど、「負の連鎖」に陥っている状況が見られ､このま

までは地域の公共交通が成り立たなくなる可能性もあります。

　地域公共交通の維持・改善は、交通分野だけの問題解決にとどまらず、ま

ちづくりや観光、更には健康・教育・環境等の様々な分野で大きな効果をも

たらします。**しかし、地域によって抱える課題は様々であり、解決すべき課**

**題が異なれば、地域における公共交通の「必要性」や「在り方」も異なって**

**きます。**

　そこで、地域の総合行政を担う地方公共団体が中心となって、地域戦略の

一環として、持続可能な公共交通網の形成を進める必要があります。

　こうした背景を踏まえ、国は「地域公共交通の活性化及び再生に関する法

律」を改正し、地方公共団体は地域公共交通網形成計画の策定ができるよう

になりました。**この計画は、地域公共交通の現状や問題点・課題の整理を踏**

**まえて、公共交通網全体を一体的に形づくり、持続させることを目的として**

**地域全体の公共交通の在り方や住民・交通事業者・行政の役割などを明らか**

**にするものです。**

【ポイント】

1. **地方公共団体が中心となり、②まちづくりと連携し、**
2. **全体的な公共交通網を再構築することが求められています。**

**持続可能な公共交通網を形成する計画を策定し、実施することで推進する。**

**住みやすく、活力に満ちた地域社会の実現**

（出典：地域公共交通網形成計画作成のための手引き）

**２. 萩市地域公共交通網形成計画作成の背景とその目的**

　　　 萩市には、ＪＲ山陰本線・離島航路・防長バス・中国ＪＲバス・石見交通

バス・循環まぁーるバスなどの公共交通がありますが、利便性や運賃などの

面において、公共交通に対する市民の満足度は低く、過度に自家用車に依存

している状況にあります。

　また、萩市においても公共交通利用者の減少が公共交通網の縮小やサービ

ス水準の低下を招き、更に公共交通利用者を減少させるなど、負の連鎖に陥

っている状況が見受けられます。

**しかしながら、今後、萩市では高齢化が更に進展し、運転免許証を返納さ**

**れる方が増加することが予想され、自ら移動する手段をもたない高齢者など**

**の交通弱者の方の移動手段を確保することが、何よりも重要となります。**

**また、萩市は、合併により約７００㎢に及ぶ広大な面積を抱え、その大部**

**分が中山間地域であることから、地域特性に応じた公共交通網の形成を目指**

**すとともに、財政負担の増加を抑制し、効率的で持続可能な公共交通網の実**

**現を目指す必要があります。**

**そのため、これまでのように市と交通事業者が地域公共交通の確保につい**

**て話し合い、取り組むだけではなく、市民を含む関係者が現状や課題につい**

**て情報を共有し、共通理解の下で、課題解決に向けてそれぞれの立場で課題**

**解決の主体となって役割を担うことが重要となります。**

　以上のような課題を解決するため、市・交通事業者・市民等が協働して、

持続可能な地域公共交通網の形成を目指して、「萩市地域公共交通網形成計

画」を策定します。